

ふえーぬ風

発行 〒901-1105
 沖縄県南部農業改良普及センター
 南風原町字山川517
 TEL:(098)-889-3515
 FAX:(098)-835-6010

南部農業改良普及センターでは、新規就農者等担い手の確保・育成、産地力の強化、農家所得の向上を目指し、①安定的な農業の担い手の育成、②おきなわブランドの確立に向けた産地育成、③環境と調和した農業生産活動、④地域資源活用による農村振興の4つの柱を活動方針とする「農業改良普及事業」を実施してまいります。



1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマー等の育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保、農業生産工程管理（GAP）の実践などの取り組みを支援します。

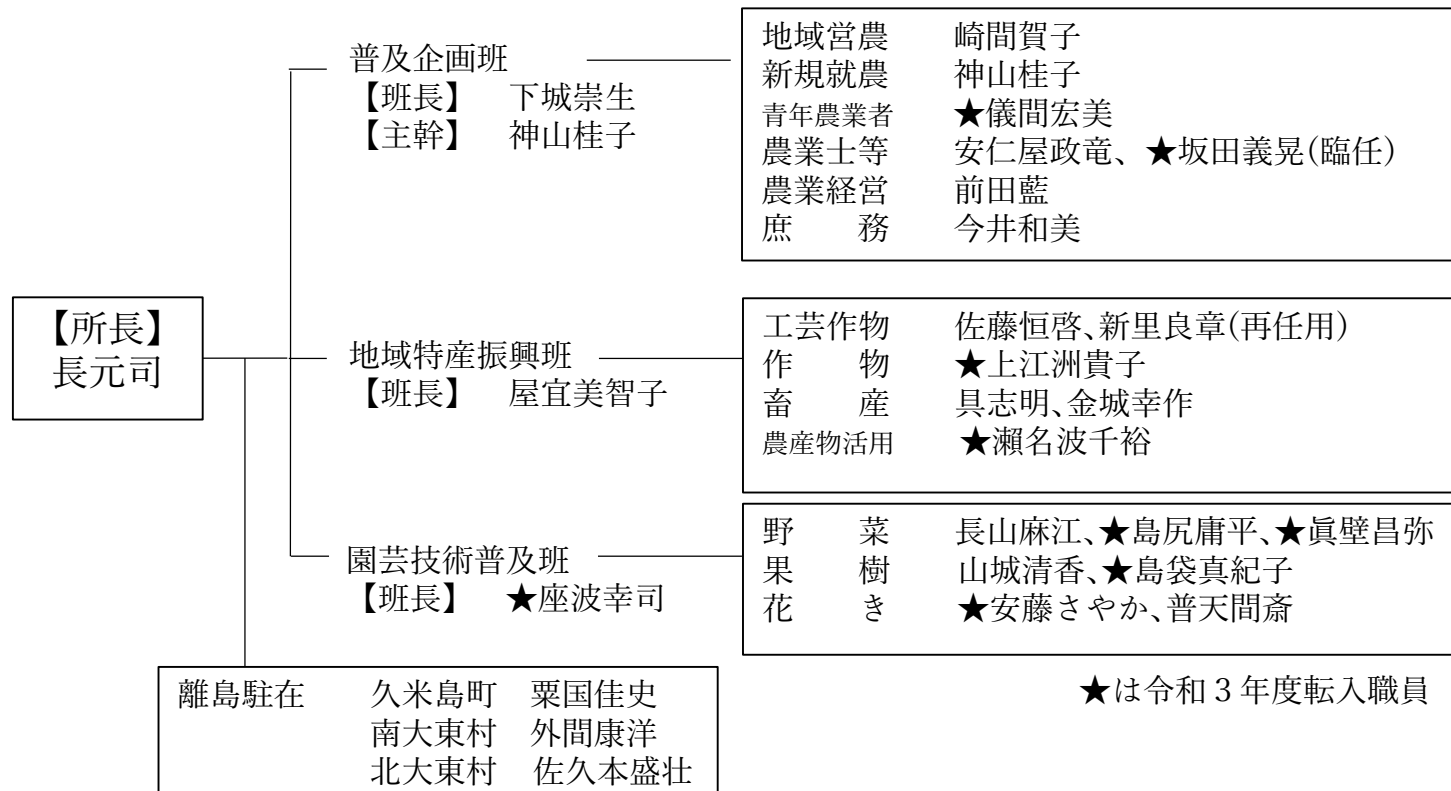
4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業家等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これら方針の推進にあたっては、農業生産者をはじめとする市町村、JAなどの関係機関と密に連携し取り組んで参りますので、今後とも当センターが実施する普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(所長 長元)

令和3年度 南部農業改良普及センター組織体制



転出者紹介：()は転出先

お世話になりました(^_^)

宮城聡(北部農業改良普及課)、中村悟之(北部農業改良普及課)、新崎千江美(北部農業改良普及課)、伊良皆ゆかり(流通・加工推進課)、阿波根直恭(農業大学校)、新里寿順(宮古農林水産振興センター)、中村翼(八重山農林水産振興センター)

マンゴーの夏場の管理（暑さ・日焼け対策）

暑くなる時期です！

これから夏に向かって気温が高くなり、特に梅雨時期の晴れ間や梅雨明け後はハウス内の温度が急上昇します。

今年の5月から7月における沖縄本島地方の予想気温は平年並または高い見通しとなっています。

(2021年4月21日14時沖縄気象台発表)

事前の暑さ対策をしっかりと行い、大切に育ててきた果実を守りましょう。



日焼け対策

1. ハウスの換気をよくしましょう！

・ハウス天面ビニールを巻き上げましょう。また、天面が空けられない場合は、妻面のビニールを解放することで熱気を逃す効果があります。

2. 袋がけや遮光ネットをしましょう！

・日焼け防止のために袋がけをしましょう。ハウス内で高温になりやすい場所やハウス面積が大きい場合は、計画的に早期袋がけをしましょう。

・袋がけが間に合わない場合などは、緊急的に遮光ネットを被覆することで日焼け果対策になります。



妻面ビニールは空けられるように工夫され、前方のネットを目合いの大きいものに変更し、風通しをよくしている事例

農薬を使用する際は、常に確認を心がけましょう！

農薬は「過去に使用したことがある」などの慣れから、農薬のラベルを確認せずにいると、未登録の農薬の使用や使用方法の誤りから残留基準値を超える農薬が検出され、ご自身の出荷物のみならず地域全体の生産物への影響を与えることにもなりかねません。農薬使用の際には、下記について改めて確認しましょう！

- ①農薬のラベルを確認し、使用基準を守る
- ②使用履歴は必ず記録する
- ③周辺への飛散に注意する
- ④散布後は噴霧器等を洗浄する。



おめでとうございます！

令和2年度沖縄県農林漁業賞受賞者（園芸部門）の紹介

令和2年度沖縄県農林漁業賞（園芸部門）を豊見城市のマンゴー生産者長嶺篤（ながみね あつし）氏が受賞されました。

長嶺氏は長年にわたり徹底した栽培管理に取り組んでおり、沖縄県マンゴーコンテストでは3度の県知事賞を受賞するなど、果実品質においても高い評価を得ています。さらに、各地からの視察や農大生の受け入れなど、産地の技術向上に大きく貢献したことが今回の受賞に至りました。



当日視察に訪問していた農大生、新規就農者の見守るなか長嶺氏（左）へ表彰状が授与されました

（園芸技術普及班 山城）

太陽熱を利用した土壤消毒のすすめ

1. はじめに

作物を連作すると土壤の養分や微生物バランスの崩れ、土壤病害虫（白絹病、菌核病、斑点細菌病やセンチュウ類）の増加等の要因で、年々収量が減ったり、生育障害が発生しやすくなります。

これら対策として土壤消毒を勧めています。

土壤消毒している人は
約**1.5倍**の単収！

t / 10a

10

8

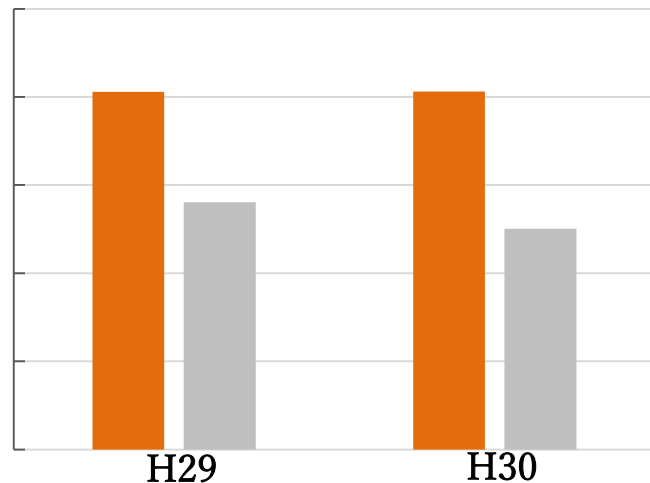
6

4

2

0

■ 土壤消毒あり ■ 土壤消毒なし



土壤消毒の有無によるピーマンの単収（部会平均）

2. 実施方法

①ほ場の準備

◆前作を片づけ、土壤を耕耘・碎土します

②堆肥・米ぬかの施用・混和

◆10アール(300坪)当たり
堆肥：1,500~2,000kg（入れすぎ注意!）
米ぬか：300kg程度
大きな土塊ができないように土壤と混ぜます

③かん水チューブの設置、かん水

◆かん水チューブを設置
◆土壤の下方まで熱が伝わるように、地下30cmまで
たっぷりかん水します（30~50t/10a）

④透明ビニールの被覆

◆廃ビニール（透明）で全面被覆します。ハウスサイド等の隙間もしっかり被覆しましょう
◆途中でビニールを開けたり、土壤に水をかけ足すことは地温を下げる原因となるため、避けましょう



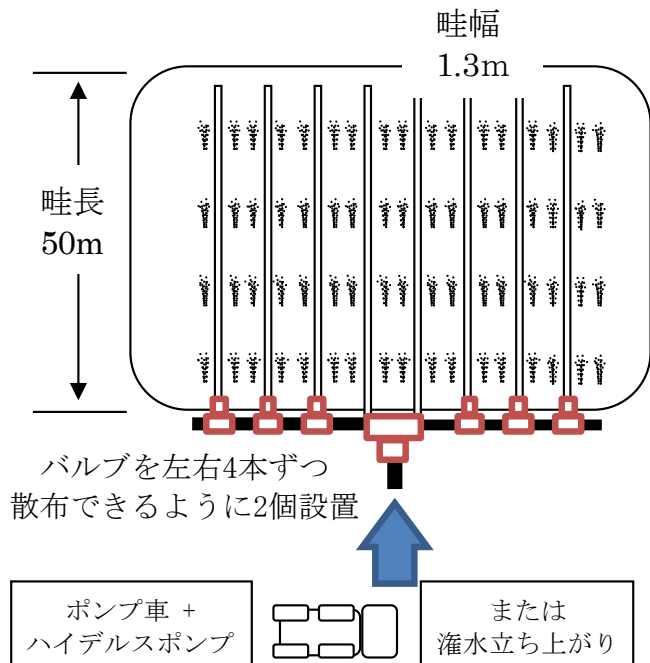
消毒のポイント！

- ①日照の多い梅雨明け～8月までの高温期に1ヶ月以上実施しましょう。
- ②水が足りないと熱がしっかり伝わりません。初期でたっぷりかけましょう。
- ③土壤消毒の効果は地表から30cm程度。深耕は消毒前に実施し、消毒後はあまり土を動かさないようにしましょう。

さとうきび栽培 チューブ灌水と除草剤散布

チューブ灌水

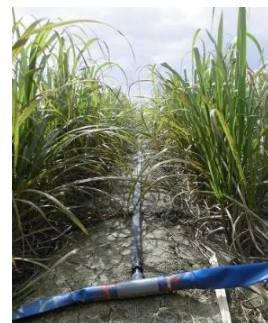
さとうきび作でかん水の利用率が低い要因として、点滴かんがいやスプリンクラでは設置費用や維持費が高いことが上げられます。そこで、安価な穴あきチューブ(主にハウスなどで使われる商品名:セーフティ)を用いる方法で展示ほを設置しました。年間費用 7千円で設置できて、40%の増収となりました。



10a当たり
 ・50mチューブ8本 ・ダクトホース25m
 ・塩ビ管とホースバンド ・ホースニップル
 で設置できる



畝端にダクトホースを設置



畝間に灌水チューブ (セーフティ)

10a当たり費用
 初年度費用は22千円であるが、ホースの耐用年数等考慮すると、1年当たり 7千円/10a



八重瀬町 小橋川優氏ほ場

		茎長 (cm)	茎径 (mm)	茎数 (本/10a)	予想収量 (kg/10a)
R元/R2 (株出1)	対照区	202	22.8	5077	4244
	灌水区	210 (104)	23.1 (101)	5897 (117)	5346 (126)
R2/R3 (株出2)	対照区	221	23.4	5909	6278
	灌水区	262 (125)	25.4 (108)	6465 (109)	9284 (148)

注)それぞれR2年、R3年1月収量調査

ハーベスタ収穫予定ほ場は除草剤散布を心がけましょう

近年、ハーベスタ収穫が増加しており南部地区では約48%となっています。ハーベスタが最も不得意とするのは雑草の繁茂したほ場の収穫です。ひどい場合は機械収穫を断念してもらうしかありません。機械収穫を予定する農家の皆様、除草剤散布で省力化しましょう。



注) 株出ほ場では
 アージラン液剤 + 2.4-Dアミン塩



散布前



散布後

新植ほ場: センコル水和剤 + 展着剤 + アージラン液剤 + 2.4-Dアミン塩

(地域特産振興班 新里)

令和2/3年産さとうきび競作会表彰農家の紹介



島袋 幸光 氏(那覇市)

令和2/3年産の競作会農家の部は、新型コロナの影響で全刈調査ができず、各地区代表農家は**奨励農家 沖縄県糖業振興協会理事長賞**となりました。

南部代表は、糸満市大里には場を持つ那覇市与儀の島袋幸光氏で、夏植の農林27号で、甘蔗糖重量2,382kg/10a 蔗茎重量16,436kg/10a、甘蔗糖度14.49度でした。(※数値は地区調査段階の参考値調査日:R3年1月14日)

【評価された創意工夫のポイント】

- ◆さとうきび大学で学んだ技術を実践。徹底した肥培管理。
- ◆サブソイラで深耕し排水性の改善。
- ◆土壌改良資材等の活用による土づくり。
- ◆かん水の徹底。
スプリンクラーで届かないほ場周縁部は手がけかん水実施。

多量生産の部の入賞は次のとおりです。

【生産法人の部】

1位:(有)ドリームファーム(久米島町)

【農家の部】

2位:大城康裕氏(南城市)



(有)ドリームファーム

養牛情報（酪農編）

子牛で儲けよう！

モオ～



(単位：円)

○育成費の削減

後継牛確保の際に初回分娩月齢が6ヵ月遅れると、飼料費だけで**約15万円の経費**がかさんでしまいます(>_<)

分娩月齢	育成費
23ヵ月齢	410,509
29ヵ月齢	560,710
差額	▲ 150,201

※自家育成の場合
※南部普及センター算出（飼料価格はR3.5月時点）

○セリ単価の向上

瑕疵の有無で売上が変わります。

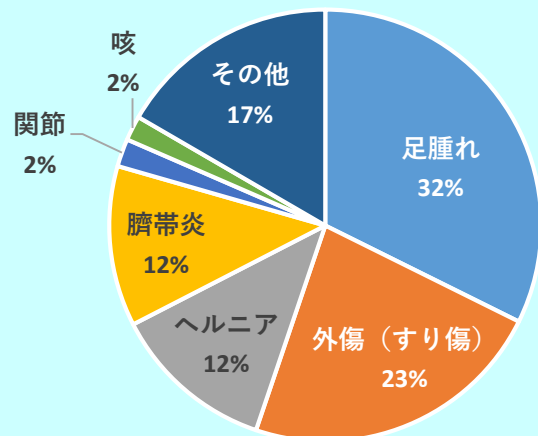
(単位：円)

項目	有 (①)	無 (②)	差額 (①-②)
ホルスタイン種	46,233	57,488	-11,254
F1	雄	202,780	-27,757
	牝	124,678	-20,353
黒毛和種	雄	358,924	17,591
	牝	389,400	-119,075

※R2年ヌレ子セリ結果参照

瑕疵の内訳

※R2年ヌレ子セリ結果参照



子牛の育成方法を改善することで**経費の削減・売上の向上**が期待できます。瑕疵の内訳から**子牛の育成環境の改善**と**産後の臍帯の消毒**が課題だと思われます。

昨年度、南部普及センターでは、子牛育成環境の改善を目的に、**カーフハッチ**(右写真)を作成しました。

経費は約3万円で、作成時間は2時間です。お問い合わせは酪農担当（金城）まで。



(地域特産振興班 金城)

離島情報 (南大東村)

～さとうきびの生産状況～

南大東村の R2/3 年期のさとうきび生産量は 10,5998 トン (速報値) であり、昨年の台風被害 (10 号、14 号) を乗り越えて 2 年連続の豊作年となりました。これまでの生産量としても 3 番目の大豊作です。

南大東村のさとうきび栽培は、JAおきなわ南大東支店利用課や生産法人、個人農家等による受託作業が充実しており、植付作業や

病虫害防除、収穫後の株出管理作業に至るまで適期管理を行うことができることが強みとなっており、2 年連続の大豊作につながっています (写真 1～4)。病虫害の発生状況としては、令和 2 年 12 月にメイチュウ類、令和 3 年 5 月にアワヨトウの病虫害発生予察注意報が発出されましたが、さとうきび農家及び関係機関等が連携し、プレバソン粒剤等による防除を徹底することで被害を未然に防ぐことができ、今年度のさとうきびの生育も順調に進んでいます。

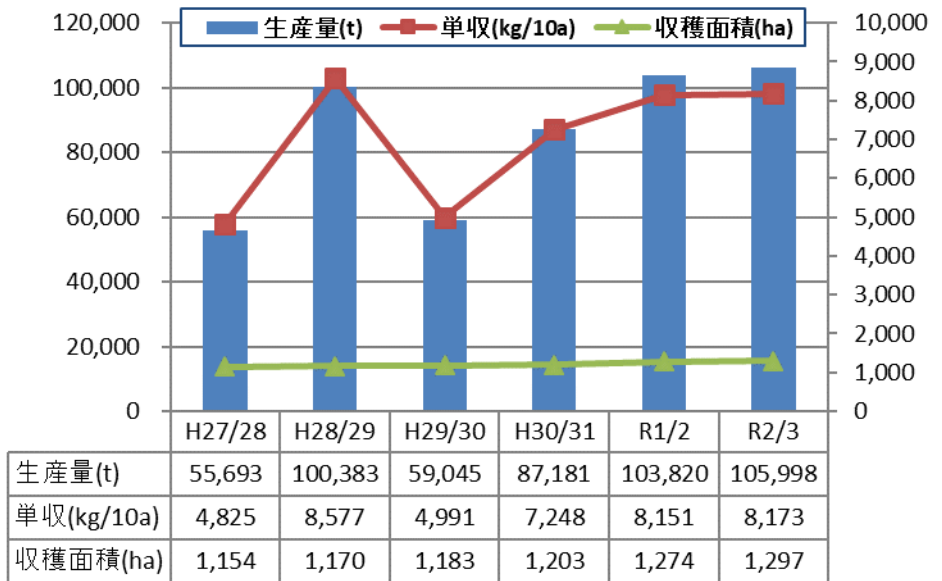


写真 1. 大型ビレットプランタによる植付



写真 2. ブームスプレイヤを用いた防除



写真 3. 大型ハーベスタによる収穫



写真 4. 収穫後直ちに株出管理作業を行う

土づくりと土壤検診週間

土づくりについて

土づくりとは、土壤の物理性、化学性、生物性（右図）を改良することによって、作物の生育に合った土壤環境を整えることです。

土壤の保水性・排水性を改善し、次に土壤pHや土壤養分量・養分バランスを整え、さらに土壤生物等の生息密度や多様性を増加させることによって、地力の増進を図ることができます。

土壤分析を実施し、自身の畑の健康状態を把握することで、より正確な土づくりが可能となります。

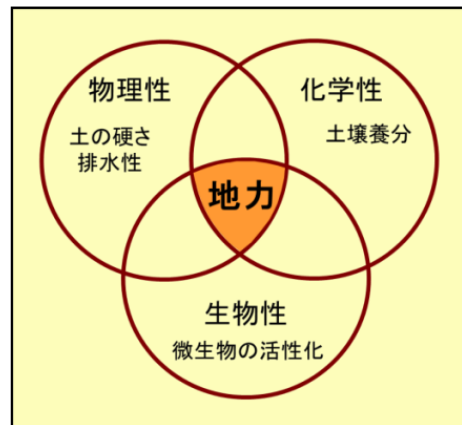


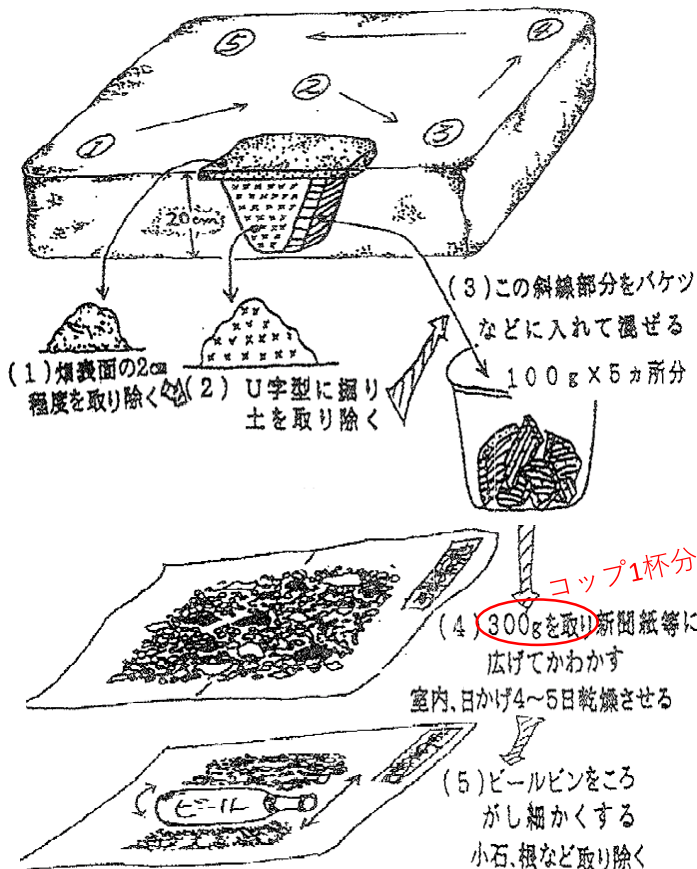
図 地力の三要素

令和3年度 土壤検診週間

沖縄県南部地区の土づくり推進活動の一環として、土壤検診週間を6月に実施します。

土壤分析では、化学性（pH, EC, 腐食, N・P・K, Ca, Mg）の分析を行います。

1. 分析土壤の取り方



2. 提出方法

① 提出資料：土壤サンプル票（下記参照）

土壤サンプル票			
① [耕作者名]	南部 太郎	[住所]	南風原町山川577
[圃場名]	南風原ハウス2棟		
② 土壤の種類	(国頭マージ) <input checked="" type="checkbox"/> ヌャーガル <input checked="" type="checkbox"/> 島尻マージ	[連絡先(TEL)]	090-XXXX-0000
③ 作物名	キュウリ (接木)	[次期作物]	オクラ
④ 作物生育状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 悪い	※樹勢が弱い等記入	
⑤ その他	土壤の問題などあれば記入 水はけが悪い。		⑥ [受付機関]
			土壤サンプルを受付た者が記入

② 提出先：JA各支店
(組合員以外は普及センターに直接持ち込み)

③ 提出期限：6月11日(金) 〆切

④ 分析件数：一人当たり1点まで
※土壤分析は民間企業においても実施しています。

詳しくは、お近くのJA各支店または普及センターまでお問い合わせください。